



TKK 共通シラバス

1. 科目名	開発教育学				
2. 教員名	水本 有香		3. 担当大学	神戸学院大学	
4. 対象学年	3年	5. 開講時期	前期 後期	6. 単位数	2単位

7. 授業の目的・到達目標（神）、授業のねらい及び具体的な達成目標（工）、授業の内容（基本的枠組）（東）

近年、小学校、中学校、高等学校において積極的に開発教育、異文化教育、国際理解、国際協力に関する授業が総合学習等を通じて行われてきた。更に、一般を対象として国際問題を取り扱った講演会、シンポジウム、講座などが盛んに開催されている。ただし、日本を取り巻く、また、わたしたちが暮らす地域を取り巻く環境は、年々、刻々と変化している。例えばここ数十年程の間に受けた授業で扱われた発展途上国が先進国へと変貌したり、先進国の中では貧困層が増加し、富裕層と貧困層の格差が拡大している。そのような状況の下、地域にいながらにして開発教育、国際理解、国際協力に関する知識等を深めるため、多様な教材が研究者、教職員、自治体、NPO 法人などにより研究、開発されてきた。これらの教材は、教材の対象者が開発教育、国際理解、国際協力に関する知識等に如何に気づき、自らの問題として理解していくかを現場で実践しながら作成されている。本講義では、これらの教材のいくつかを実践し、教材の目的、対象者、内容などを理解し、得られる学びを参考にした上で、受講者自身が一番関心のある開発教育、国際理解、国際協力に関する知識等を得ることを目的とした教材をグループワークを通じて作成することにより、受講者自らの興味・関心を広げ、他者への理解の促し、他者の気持ちを受け止めること、自らの考えを創造していき、受講者個人、受講者同士にとっての「社会貢献」力を担当者と共に高めていく。

（１）自らと他者に対して気づき、理解を深めることが出来る、（２）開発教育、国際協力・国際理解に関して自分の意見を発表出来る、（３）他者と協力しながら、開発教育、国際協力・国際理解を深める教材を創作することが出来る、を具体的な到達目標とする。

8. 授業のキーワード（神）

開発途上国 貧困 紛争 教育 保健衛生 地球環境 防災 国際協力

9. 授業の進め方（神）

講義およびワークショップ

10. テキスト、参考書、指定図書（神）

11. 授業時間外に必要な学修（神）事前、事後に受講してほしい講義等（東）

【事前に受講してほしい講義等】

【事前に受講してほしい講義等】

12. 提出課題など（神）

レポート

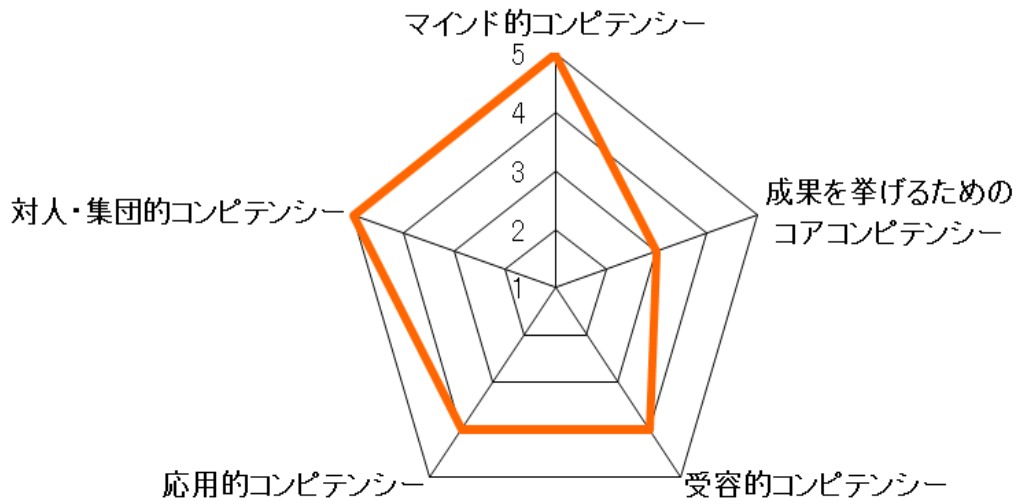
13. 成績評価方法・基準（神）、成績評価方法及び水準（工）、評価の方法（東）
授業（グループワークを含む）への貢献度（45%）、レポート等（30%）、受講者の発表（25%）により総合的に評価する。
14. 履修するにあたって（神）、学生へのメッセージ（工）、授業時間外学習（予習・復習）・履修上の注意事項（東）
授業中のグループワーク等では積極的な発言を求めます。
15. 参考（オフィスアワー（工）等）

【授業計画（神）（東）、授業計画及び準備学習（工）】

講義番号	主題	内容
第1回	ガイダンス	授業の全体、自己紹介、授業の進め方、評価の仕方など。
第2回	開発とは	貧困と開発について
第3回	開発教育	開発教育、国際理解の成り立ち、傾向など
第4回	教育と開発	開発途上国における教育の現状と課題に対する支援
第5回	平和と開発	世界の紛争および難民の現状など
第6回	ジェンダーと開発	日本および世界のジェンダーに関する現状と課題に対する対策
第7回	スポーツと開発	開発途上におけるスポーツの現状と課題
第8回	観光と開発	開発途上国における観光の現状と課題に対する対策
第9回	環境と開発	開発途上国における環境の現状と課題に対する支援
第10回	防災と開発	日本および世界の減災に関する現状と課題に対する対策
第11回	開発教育の方法	ロールプレイ、フォトランゲージ、ダイヤモンド・ランキングなど
第12回	教材研究	開発教育の教材の検討
第13回	教材開発①	教材の開発（グループワーク）
第14回	教材開発②	教材の開発（グループワーク）
第15回	教材発表及び実践	教材の発表及び実践

【コンピテンシー】 ※コンピテンシーについての詳しい説明は[こちら](#)。

(下記に、身につけることが期待されるコンピテンシーを5段階評価でご記入ください。
期待度が高いほうが5、低いほうが1です。)



コメント

--